

## 『遠い思い出』 田村 大三 (本会名誉会長・指笛音楽創始者)

昭和9年(1934年)5月25日夕、私は『指笛』に全生命をかける決心のもとに、神田神保町の四っ角に立ったのです。それから65年、只々そのことのために生きぬいて参りました。なんと感謝なことでしょう。

普通の人がいきなり街頭に立つということは、相当の覚悟が必要だと思いますが、クリスチャンの一人として、それまで何十回となく街頭の一角に立って、所信を述べたことのある小生としては、何の苦もなく実行に移すことが出来たわけです。

或る夜のこと、少し晩酌を飲みすぎたようなおじさんが立ち止まり、「お前口何か小さな笛でも隠してるんじゃないのか」と言うのです。しかもそう言っただけでなく、彼は私の口の中を色々な角度から覗き込んでいました。或る時は、指笛を普及することは不衛生に陥りませんかネ、などと言った人もおりました。

しかし何と言っても、「我れこれがために生まれたり」の確信の元に今日を迎えることが出来、小生亡き後も指笛の灯は消えないことを思い、只々感謝で一杯です。或る人は指笛を「シテキ」と言い、或る人は「サシブエ」と読み、また或る人は「ユビテキ」と読みました。指を「ユビ」と読んだら笛を「フエ」と読んで下さったらいのに……と思ったことがありました。

英語の場合、フィンガーフルートと言いたいのですが、フィンガーホイッスルと言う人もおられます。

いずれにせよ、指一本を聊(くわ)えて、それぞれ自らの“心”を伝えることの出来る喜びを、自分自身のものに出来たことを、心から喜び合ひましょう。

## シリーズ 『私と指笛』 田代 順一 (本会会長)

楽友会通信のシリーズ「私と指笛」の第一走者としての課題を与えられましたので田村先生との関わりについて述べさせていただきます。

「指笛音楽」との最初の出会いは、昭和22年の台北市公会堂における「田村大三指笛音楽会」でありました。

「指一本の音楽」というキャッチフレーズに憧れ、日本に引き揚げてすぐに阿佐ヶ谷のバラックに先生を訪ねたのが動機でした。その後中野に移られた「指笛の家」を探し当てたときは、当時ラジオ番組で放送されていた「鐘の鳴る丘」とはたいへん異なったイメージであった覚えがあります。

先生の公演の手伝いの最初は、神田の共立講堂で「秋田の夕べ」を秋田県出身の芸能人を先生が中心となり一堂に会しての公演会であったと記憶しています。東海林太郎やモダンバレエの石井漢など錚々たる人達の出演でした。「指笛音楽発表20周年、

30周年、35周年」等の記念公演会を通じての度重なる手伝いにより、指笛音楽の素晴らしさに取り付かれてしまいました。特に45周年記念の「指笛と吹奏楽」の公演は素晴らしかったと現在でも深く記憶しています。

先生は「指笛を吹ける人は選ばれた者である」或いは又「指笛音楽は聴く人の心に感動を与える演奏に心掛けることが肝心である」という信念で指導をなされてきています。斯様なことは容易にできることではありません。然し「君の吹いているのは口笛で、指笛の音色とは全然異なる」と苦言を呈され、私は指笛の音色に達するのに数年を要しました。下唇の張りの大切さを強調するのは自分のこの苦い経験によるものです。指笛の音色の素晴らしさは生の指笛を聴かなければ、なかなか実感として捉えられないと思います。

平成9年10月から、よみうり・日本テレビ文化センター新宿で「田村大三の指笛入門」講座が開かれています。開設された経緯と趣旨は、文化センターの責任者の方が田村先生の演奏を聴かれ、「指笛音楽を日本の文化」として存続継承していくべきである、との判断に基づいた結果であると承っています。文化センター新宿の活動が『波紋』となって拡がっていくことが念じられます。

また、毎月25日に先生のご自宅での集まり「25の会」は静海先生の心づくしで、指笛を介しての各種の分野の方達との交流の場としての貴重な一時であると思います。「指笛音楽創始者」である田村大三先生と面識を得たことは、私の人生に於いて大きな収穫であることを感謝している次第です。

## 田村先生ご夫妻の最近の主な演奏活動

- (1) 1/18 視覚障害者新年会 (2) 2/14 長野八千穂村公民館 (生涯学習)
- (3) 5/10 秩父野外コンサート (4) 5/25 指笛門下生の会 (安田生命ホール)
- (5) 8/9 8/14 8/16 3ヶ所の寺院でのお盆の法要アトラクション
- (6) 9/5~9/7 北海道旭川教会2回公演 10/26 東京都盲人協会文化祭 (東京都福祉会館) (7) 11/14 ふるさと会 (浅草ビューホテル)

以上の他教会関係5ヶ所の特別伝導会を含め沢山ありますが割愛させていただきます。

事務局より ※指笛音楽65周年記念演奏会の期日と会場が決まりました。

平成11年4月3日(土)朝日生命ホール(新宿)

※シリーズ「私と指笛」次号には副会長の水沼さんをお願いしてあります。会員の皆様に順番をお願いしていきますので依頼がありましたら宜しくお願いいたします。原稿用紙(400字)2枚程度です。

※名簿の訂正 下記の変更及び誤りがありましたのでご訂正お願いいたします。

有吉 憲行 ☎ 0427-39-9551 ⇒ 042-739-9551

大平 馨 ☎ 042-998-7778 ⇒ 0429-98-5776

河津 菊枝 住所 4-17-9 ⇒ 2-32-1

中村 倫二 ☎ 03-3987-7409 ⇒ 03-3983-7409

他にも変更や誤りがありましたら事務局までご連絡ください。

指笛楽友会事務局

☎ 03-3923-9714

田村 大三方